



■問い合わせ 佐賀県立多久高等学校 ☎75-3191

多久高等学校クラスマッチ



▲やわらかいボールは投げにくそう！うまくボールをまわしてポイントゲット！



▲優勝は逃したものの、一番の団結と絆が輝いていた3年1組のみなさん

生徒会が中心となって頑張りました!!

生徒会長の平間伸之さんは「このルールでの開催は初めて。みんなのノリもよく、盛り上がっていて嬉しい」とひと安心の様子でした。盛り上がりを見せたクラスマッチで、クラスメイトの絆が強まり、多久高校へ向けてのはずみとなりました。

優勝 1年4組 2年1組 3年4組

3年生は勝率で1組、2組、4組が並び、じゃんけんでの順位決め。こちらも白熱しました。

高校生時代、学期末といえは...。やっぱりクラスマッチですよね!!

今月号では、多久高校のクラスマッチを取り上げてみました。

多久高校体育館で7月10日に生徒会主催のクラスマッチが行われました。年3回開催のクラスマッチ。今回の種目は、ドッジボール！ただ、普通のドッジボールと違って、ボールを2個使用し、1つはバレーボールを使用。もうひとつはやわらかいボールを使用し、男子はそのやわらかいボールだけを使用するルールとなっていました。

また、内野の人に当たっても外に出ることはなく、ポイント制となっており前半9分・後半9分の時間制限で競われました。



▲「ドッジボール楽しい!」とEnjoyする3年生。クラスマッチを満喫していました!!



▶先生も火花バチバチ!?

相撲部 (Sumo Wrestling Club)



相撲部は部員4人(3年1人、2年2人、1年1人)。毎日多久高校相撲場で稽古に励んでいます。

今年の高校総体では、団体優勝は逃したものの、個人の部の無差別級では岡本朗さんが優勝、3位孫城拓未さん。また、100kg超級では孫城さんが優勝。100kg未満級でも岡本さんが優勝を収めるなど大活躍でした。

監督の野路富斗先生は「とにかくぐうしくあれ」と、体格や性格にあった相撲をとれば強くなるという方針で指導しています」と話しました。



▶先輩のアドバイスでぶつかり稽古に励む2年生



部長の岡本さん「調子はまずまず。今年の全国大会は3勝して決勝トーナメントに残ります！」

孫城さん「全国大会では“ぶつかり”に気がついていきたい」

鳥越讓治さん「きついけど、やりがいがあります。まじめに相撲に取り組んで上を目指したいです」

多久高2年生就業体験



総合的な学習の一環として、4日間の日程で、多久高校から2年生16人がインターンシップ研修に参加されました。

～職場体験風景～



▶取材後市報の記事づくりに挑戦



▲多久高2年生の牧野内光さん、松尾夏樹さん(写真左下)

お二人には、今月号P16掲載のまちの話題『青しまうり漬け販売開始式』の原稿作成に取り組んでもらいました。「文章の構成など、広報業務をとおして学んだことを小論文の作成に活かしたいです」と今後の抱負を語っていました。お疲れ様でした!!